

製品安全データシート

1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	:布えのぐ(各色及びメディウム)
会社名	:ターナー色彩株式会社
住所	:大阪市淀川区三津屋北2-15-7
担当部署	:研究開発室
電話番号	:06-6308-1216
緊急連絡先	:06-6308-1216
FAX番号	:06-6305-3018
メールアドレス	:kenkyuu@turner.co.jp
作成、改訂	:2013年12月2日
整理番号	:1018-02

2.危険有害性の要約

GHS分類

分類対象外、分類できない、区分外となるものは危険有害性に記載していません。

健康有害性

■ホワイト(濃)/ホワイト/グレイ

生殖細胞変異原性	区分1
生殖毒性	区分2
水生環境有害性(急性)	区分3
水生環境有害性(慢性)	区分3

■レッド

急性毒性(経口)	区分4
----------	-----

■ピンク/アクアブルー/ミントグリーン/ブルー

皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分1
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1
水生環境有害性(急性)	区分3
水生環境有害性(慢性)	区分3

■ローズピンク

皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分1
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1

■フレッシュ/ライラック

生殖細胞変異原性	区分1
生殖毒性	区分2
水生環境有害性(急性)	区分3
水生環境有害性(慢性)	区分3

■イエローオーカー

生殖毒性	区分2
------	-----

■ブラウン

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
生殖毒性	区分2

■モスグリーン

生殖細胞変異原性	区分1
生殖毒性	区分1

■専用メディウム

生殖細胞変異原性	区分1
水生環境有害性(急性)	区分3

水生環境有害性(慢性) 区分3

絵表示またはシンボル



注意喚起語:危険

危険有害性情報:

遺伝子疾患のおそれ
飲み込むと有害
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
重篤な眼の損傷
水生生物に有害
長期または反復暴露による臓器(呼吸器系)の障害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き:

【予防策】使用前に取扱説明書を手入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

必要に応じて個人保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護手袋を着用すること。

粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

(必要な時以外は)環境への放出を避けること。

【対応】暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

漏出物を回収すること

飲み込んだ場合:気分が悪いときは、医師に連絡すること、口をすすぐこと。

皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】施錠して保管すること。

【廃棄】13.廃棄時の注意を参照のこと。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

一般名: アクリルエマルジョン塗料

成分及び含有量:	CAS No.	(%)
プロピレングリコール	57-55-6	1 - 5
フタロシアニブルー	147-14-8	0 - 10
フタロシアニグリーン	1328-53-6	0 - 10
水和酸化第二鉄	51274-00-1	0 - 10
酸化第二鉄	1309-37-1	0 - 10
カーボンブラック	1333-86-4	0 - 5
酸化チタン	980-26-7	0 - 20
アモルファスシリカ	7631-86-9	1 - 5

PRTR法: 該当なし

労働安全衛生法: 酸化第二鉄/カーボンブラック/シリカ

毒劇法: 該当なし

4. 応急処置

目に入った場合: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ速く医師の診断を受けること
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 付着物を布にて素早く拭き取る。
汚染された衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が割るときには医師の診断を受けること。

吸収した場合: 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し
呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合: 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火方法: 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火を行う者の保護: 消火作業は、風上から行い、状況によっては呼吸器具を着用する。
使用可能消火剤: 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他すべての消火剤

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:
作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項: 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法、機材:
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
スコップ、ウェス等で回収する。大量の場合には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意: 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
取扱後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管上の注意: 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。

8. 暴露防止措置、及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準:

成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)
酸化第二鉄	-	5 mg/m ³ (Fe、Fume)として
酸化チタン	-	10 mg/m ³
アモルファスシリカ	-	0.1 mg/m ³
カーボンブラック	-	3.5 mg/m ³

設備対策: スプレー塗装などミストが発生する場合には、排気装置を付けること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されないような設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。

保護具: 呼吸系の保護: 有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。
目の保護: 取り扱いには保護メガネを着用すること。
手の保護: 有機溶剤、または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
皮膚の保護: 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他の保護具: -

9.物理的及び化学的性質

状態: 液体
色: 各色
臭い: 僅かなアクリル臭
PH: 7.0 - 10.0
沸点、初留点および沸騰範囲: 水100℃
燃焼または爆発範囲の上限下限: データなし
蒸気密度: データなし
溶解度: 水に可溶
自然発火温度: データなし
引火点: データなし
蒸気圧: データなし
密度(比重): 1.0 - 1.5
n-オクタン-1/水分配係数: データなし
分解温度: データなし

10.安定性及び反応性

安定性: 通常の使用では安定
避けるべき条件: 高温、直射日光の当たる場所
混触危険物質: 酸化性物質と反応する。
危険有害な分解生成物: このものは燃えないが塗膜等が燃えた場合、CO、NOx、ハロゲンガスなど有害ガスを発生する恐れがある。
その他危険情報: 特になし

11.有害性情報

■酸化第二鉄

皮膚腐食性/刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷制/眼刺激性: 区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 区分1(呼吸器系)

■カーボンブラック

発ガン性: 区分2
水生環境有害性(慢性): 区分4

■酸化チタン

眼に対する重篤な損傷制/眼刺激性: 区分2B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 区分1(肺、吸入)

成分名	急性毒性			発ガン性(IARC)
	経口(mg/kg)	経皮(mg/kg)	吸入:蒸気(mg/L)	
酸化第二鉄	-	-	-	3
酸化チタン	LD50:>10000	-	-	3
カーボンブラック	LD50:15400(rat)	-	-	2B

※有害性情報は化学物質固有のデータであり、含有濃度によって変化するものではありません。

12.環境影響情報

成分名	水性環境有害性(急性)	水性環境有害性(慢性)
酸化チタン	区分外	区分4
カーボンブラック	区分外	区分4

残留性・分解性/生物蓄積性/土壌中の移動度については、混合物としてのデータがない。

13.廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
廃棄物等を焼却処理する場合には、有害ガスを発生する為、洗浄設備の無い焼却炉を使用しないこと。
排水処理、燃却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律

及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

共通: 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器に漏れのないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送: 航空法の定めるところに従うこと。

国連番号: なし

15. 主な適用法令

化学物質管理促進法

労働安全衛生法

水質汚濁防止法

廃棄物の処理、および清掃に関する法律

消防法

化審法

船舶安全法

16. その他

主な引用文献	日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 溶剤ポケットブック 危険防災救急便覧 国際化学物質安全カード (ICSC) 原料MSDS 化学物質総合情報提供システム (CHRIP)
--------	---

[注意]

危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加、修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。すべての化学製品には未知の危険性・有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。